



写真提供 日本近代文学館

太宰治、 生誕100年記念。

6月28日(日)開場14:30/開演15:00

『走れメロス』『黄金風景』

会場：藤枝市民会館

出演：杉山直

全席指定

一般(大学生以上)2500円/学生(高校生以下)1000円

主催 藤枝市・藤枝市民会館指定管理者㈱日本シアタースervice

お問合せ 藤枝市民会館 TEL054-643-3931 HP <http://www.jts-corp.co.jp/fsk/>

※駐車場の数に限りがございます。公共の交通機関をご利用下さい。

太宰治、生誕100年を記念して。

今年2009年は、作家・太宰治が生まれて100年にあたります。

この年を記念すべく、「斜陽」「人間失格」などの相次ぐ小説の映画化など、各地で色々な動きが見られています。そして2009年6月、この藤枝でも朗読会を開いてみようと思います。

朗読を聞くということ。

「朗読」を聞くことは、子供達の色々な力を伸ばします。例えば人の話に注意して耳を傾ける力や言葉からイメージする能力。また物語を知ることで、本離れが進んでいる現代の子供達に本を読むきっかけを与えることが期待されます。

『新朗読』とは。

そして今回、ジュピロ磐田のスタジアム専属DJも務める杉山直がお送りするのは、彼の考案した『新朗読』です。従来の朗読とは異なり、文章を全文暗記し、まるで会話のように皆さまに語りかけます。また音楽・照明効果・映像を駆使し物語をより皆さまの感覚に響かせます。



太宰 治(だざいおさむ)

小説家。

1909年6月19日青森県生まれ。本名津島修治(つしましゅうじ)。芥川龍之介の影響を受け、同人雑誌を刊行。1933年四人誌「海豹(かいびょう)」に作品を発表し始め、注目を集める。1935年「文藝」に『連行』を発表、第1回芥川賞の候補となる。1936年短編集「女生徒」で北村寿賀賞を受賞する。

主な作品に『走れメロス』『津軽』『お伽草紙』『斜陽』『人間失格』などが挙げられる。

39年の生涯で4回の自殺未遂をはかったり、過激な作風のためか真に迫った作風を好む作家としてのみ捉えられがたが、ユーモア溢れる作品も多数残している。



杉山 直(すぎやまちかよ)

フリーアナウンサー。5歳で子役として劇団文化座「よ」全国公演デビュー。その後、TBS「小さな目」関口宏さんの兼役としてレギュラー出演。

NHK「太陽の丘」森繁久弥さんの末息子役としてレギュラー出演。NTV「意地悪婆さん」青島幸男さんの孫役としてレギュラー出演。

22歳より劇団間に拠点を移しテレビ・ラジオパーソナリティー、イベント、格闘技会等。テレビ静岡「情報立派点Oo!」SBSテレビ「遠州通り」「おかず倶楽部」「パチンコ倶楽部」他SBSラジオ「フランクワイド」他、K-MIX「コーカサンドラッシュアワー」他 多数出演。平成11年より富士市民大学にて「司会者養成講座」を担当講師

ほかにも、専門学校・社会学校・公共機関において 司会者養成講座括し方講座、プレゼンテーション講座、ウェディング全般等講師活動を行う。

現在Jリーグジュピロ磐田のスタジアム専属DJ。